ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO

FUYO LEASE GROUP

2024年9月30日
みずほ証券株式会社
芙蓉総合リース株式会社

みずほ証券として初となるEnabler向けフレームワーク策定支援による芙蓉総合リースのトランジション・ファイナンス・フレームワークの制定

みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎、以下「みずほ証券」）は、ストラクチャリング・エージェントとして、芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長：織田 寛明、以下「芙蓉リース」）の Enabler（イネーブラー：他者の脱炭素に向けたトランジションを可能にするための投融資を含む活動の原資を調達する主体）としてのトランジション・ファイナンス・フレームワーク策定を支援（以下、本件）しました。本件は、みずほ証券として初となる Enabler 向けのトランジション・ファイナンス・フレームワーク策定の支援を行う案件になります。

芙蓉リースグループは、中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現による企業グループとしての持続的な成長を目指しています。特に、「脱炭素社会実現への貢献」を重要な課題（マテリアリティ）のひとつと位置付け、CO_2排出削減を推進するさまざまなサービス提供を通じてお客さま・社会の脱炭素化実現に向けた取り組みに注力しています。今般、芙蓉リースは Enabler としてトランジション・ファイナンス・フレームワークを制定し、これを活用してお客さまのトランジションをサポートすることで、更にお客さま・社会の脱炭素化に貢献してまいります。

みずほ証券は、炭素排出が多いセクターのお客さまのトランジションを支援するため、トランジション・ファイナンスへの取り組みを強化しています。本件をはじめ、国内 SDGs 債における数々の初案件をストラクチャリングした実績があります。さらに M&A や証券化への対応も強化するため、体制を大幅に拡充しています。今後もお客さまのサステナビリティ経営高度化・ビジネストランスフォーメーション（事業変革・事業構造再構築）戦略実行を後押しし、社会全体のサステナビリティ向上に貢献します。

（ご参考）
・芙蓉総合リース「トランジション・ファイナンス・フレームワーク」（2024 年 9 月初版）
https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/transition_finance.pdf

・DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社「セカンド・パーティ・オピニオン」
https://webmagazine.dnv.co.jp/assets/images/sus_list/data/sus_finance_list_/pdfreport_j/121.Fuyo%20General%20Lease%20Co.,Ltd..pdf

以上

【本件に関するお問い合せ先】
芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当：山﨑・渡邊）
TEL：03-5275-8891　URL：https://www.fgl.co.jp/